



<連載⑧>

「クルーズフォーラム横浜'94」報告



大阪府立大学海洋システム工学科助教授

池田 良穂

国内で開かれる唯一のクルーズ関係の国際会議である「クルーズフォーラム横浜」が、11月の4～6日に開かれた。この企画は横浜市の港湾局が企画・運営するもので、これが第3回目となる。2日にわたる国際会議を中心にして、市民クルーズ、クルーズ客船の一般公開、市民向けのクルーズに関するトークショーなどが行なわれた。

筆者がこのクルーズフォーラムに最も期待していることは、国内のクルーズに関係する人々が一同に会って情報の交換ができることもあるが、毎回招待している海外のクルーズ関係者から貴重な情報を生で得られることである。今回は、クルーズオペレーターの代表としてP&O社のヒューズ氏、米国のクルーズ専門旅行代理店の代表としてシーリー氏、クルーズ港の代表としてバンクーバーのスターク氏とシンガポールのリー氏、クルーズ客船のレーティングで有名なダグラス・ワード氏の5名がゲストとして招かれ、海外のクルーズの現状についての貴重な報告をしてくれた。

P&O社のヒューズ氏の講演は、P&O社クルーズ部門および子会社のプリンセス・クルーズのクルーズの現状と将来戦略に関するもので

あった。北米のクルーズ業界のビックスリーの1つとして活躍するプリンセス・クルーズの自信に溢れる説明があったが、一方でクルーズが儲かる産業という認識が浸透し始めて、米国政府がクルーズ産業に対する税金負担の増加を画策していること、クルーズ船上での病気が発生してクルーズ全体のイメージを損なったことなど、クルーズ産業全体で取り組まなければならない問題点もたくさんあることが紹介された。

また、欧州のクルーズ市場の現状の報告もたいへん興味深かった。現在、欧州のクルーズ市場は、イギリスが25万人、ドイツが20万人、フランスが14万人、イタリアが10万人の規模になったとのこと。21万人と言われる日本のクルーズ市場の規模とほぼ同じ程度の規模であり、北米の470万人に比べるといずれもかなり小さい規模であることがわかる。しかし、従来の船会社による直販主体から、旅行代理店による販売主体へと販売体制が急速に変化しており、これは北米クルーズ界とよく似た状況のようである。旅行代理店自体が、クルーズを扱えば儲かるという意識を持ち始めており、これが特にイギリスからのフライ&クルーズの急成長の大きな原動力となっている。

ただ、一方、それぞれの市場の性格の差は大き

く、必ずしもカリブ海型のクルーズが、欧州や豪州で受け入れられるとは限らないため、その市場のニーズに合わせたクルーズの事業展開が必要であるとの指摘は、日本またはアジアでのクルーズ振興にあたっては大変重要な示唆に富む発言であった。北米ビックスリーの中では、グループとして最もグローバルな世界規模のクルーズ事業の展開を図っているP&Oグループならではの現状分析といえる。P&O社は、この路線に従って現在67,000総トン型大型クルーズ客船「オリアナ」を建造中であり、旅客定員を従来船から50%増加させることにより、スケールメリットを利用した営業展開を図り、新造船効果によってイギリス市場において年率25%程度の成長を実現させたいという。同船のテーマは「クラシック&モダン」で、イギリス人の好みに合わせたハードとソフトを追求しているという。また、競走は決して他社のクルーズ客船ではなく、他の陸上のレジャーであるという認識も、北米クルーズ会社の首脳とほぼ共通している。最後の締めくくりは「ドリーム・カム・トルー」、すなわち「夢が実現する」。欧州の

クルーズ市場も、新しい魅力的でリーズナブルプライスを実現した大型クルーズ客船の登場によって、いよいよ本格的な成長期に突入しはじめたようだ。

バンクーバー およびシンガポールの2つのクルーズ先進港からの報告も大変貴重なものであった。いずれも、港湾当局が戦略的なクルーズの振興を行っており、クルーズに関する情報発信源として機能して成功している。日本の港湾では、まだ外国の有名客船を呼んで来ることがクルーズ振興だと勘違いしている所も多いようだが、港をクルーズのハブにしてこそ、港が客船で賑わい、人が集まる活気の溢れる港町となるという非常によい実例を紹介してもらえた。ウォーターフロント開発というと単に客船埠頭を造るだけというハード主体の開発から、ソフトも含めた戦略的な方策が日本の各港湾にも求められている。仏作って魂入れず、といった状況にならないように期待したい。



MODEL・コスモGE型
(実用新案出願中)

性能・実績で先端をゆく

もやい索発射器は

コスモ・GV, GE型

(バルブ式で操作は簡単)

共栄産業株式会社

〒650 神戸市中央区江戸町101番地 三共生興スカイビル
TEL 078(332)6288 FAX 078(321)1030